

## 中川良延教授著作目録

### 凡例

- 1 各項目における表記の順は、原則として以下の方法に従う。
  - a 単行本、叢書、報告書等は『タイトル』、出版社（または刊行者）、刊行年月の順。
  - b 単行本、叢書、報告書等における分担執筆等については、タイトル、『掲載書名』、書誌情報の順。
  - c 雑誌掲載の著述は、タイトル、『掲載誌名』、掲載年月の順。
  - d 新聞掲載の著述は、タイトル、『新聞名』、掲載年月日の順。
  - e 事典記事等に関しては、『事典名』、編纂者、出版社、刊行年月の順に記し、執筆項目は省略する。
- 2 必要に応じ、『著述内容の分類』、(著作物に関する説明) または(掲載誌における特集タイトル等)を記す。
- 3 刊行の月日が不明なものは、当該年の末尾に置く。

### 一九五七年

土地の賃借権に基づく第三者に対する妨害排除請求「法学」21巻2号、一九五七年

一九五八年

最高裁の民法判例概観(一) (五)「法律時報」30卷4・5・6・8・9号、一九五八年三月  
ヴァン・デル・ヴァルク『現代中国家族法における保守主義』「文献紹介」「法学」22卷1号、一九五八年四月

一九五九年

未成年養子の許可について「法学」(東北大学法学部) 23卷1号、一九五九年三月  
内縁の成立「『家族法大系II』中川善之助教授還暦記念」(有斐閣)、一九五九年六月  
縁組意思に関する一考察―判例の処理方法をめぐって「商学討究」(小樽商科大学) 10卷2号、一九五九年九月

一九六〇年

公示方法からみた立木と立稲「商学討究」(小樽商科大学) 11卷1号、一九六〇月八月  
未成年養子の許可「東北法学会雑誌」(東北法学会) 3号、一九六〇年十一月  
身分行為「民事法学辞典下巻」末川博編、有斐閣、一九六〇年十二月

一九六一年

フランス民法と内縁『小樽商科大学創立50周年記念論文集』(小樽商科大学)、一九六一年七月

一九六二年

不法行為による損害賠償請求権——とくに生命侵害の場合「判例タイムズ」(判例タイムズ社) 124号、一九六二年一月

フランスにおける社会立法と内縁「商学討究」(小樽商科大学) 12巻4号、一九六二年二月

一九六三年

成年養子の実態(I・II)「商学討究」(小樽商科大学) 14巻2号、一九六三年六月

W・M・エヴァン編『法と社会学』「文献紹介」「商学討究」14巻3号、一九六三年一月

一九六四年

親権と子供の教育を受ける権利「北大法学論集」(北海道大学法学部) 4巻3・4合併号、一九六四年三月  
賃借権の相続『判例演習(親族・相続)』柚木馨ほか編(有斐閣)、一九六四年十二月

一九六五年

『家庭法律大事典』中川善之助編、第一法規、一九六五年

一九六六年

『体系民法事典』中川善之助編、青林書院新社、一九六六年

売主の遅滞と果実収取権「別冊ジュリスト」『不動産判例百選』、一九六六年

性能保証「別冊ジュリスト」『動産（売買）判例百選』、一九六六年

一九六七年

『注釈民法(24)相続(1)』中川善之助編、有斐閣、一九六七年三月

本人の関与しない婚姻届の効力「別冊ジュリスト」『家族法判例百選』（旧版）、一九六七年

一九六八年

嫡出否認『新民法演習5（親族・相続）』谷口知平・加藤一郎編、有斐閣、一九六八年四月

死亡の場合の近親者の慰謝料請求権「別冊ジュリスト」『交通事故判例百選』、一九六八年四月

『夫婦親子の法律相談』島津一郎・沼辺愛一編、有斐閣、一九六八年

一九六九年

『相続（実用法律事典3）』中川善之助・山島正男編、第一法規、一九六九年一月

『民法（親族・相続）講義』島津一郎・椿寿夫編、青林書院新社、一九六九年四月

一九七〇年

婚姻の届出の当時本人が意識を失っていた場合の婚姻届の効力「ジュリスト臨時増刊『昭和44年度重要判例解説』一九七〇年七月

一、特定の財産を特定の相続人に相続（取得）させる旨の遺言の趣旨 二、遺産分割前の相続財産たる建物全部を共同相続人中の一人が相続開始前より引き続き使用収益している場合と他の相続人に対する不法行為の成否「判例評論」140号「判例時報」603号、一九七〇年一〇月

一九七一年

『民法Ⅲ（法学セミナー・基本法コンメンタール）』中川善之助・島津一郎編、有斐閣、一九七一年五月

『民法(8)』遠藤浩ほか編、有斐閣、一九七一年九月

一九七二年

本人の関与しない婚姻届の効力「別冊ジュリスト『家族法判例百選』」、一九七二年二月

借家明渡しの際の「正当事由」『民法を学ぶ』水本浩・篠塚昭次編、有斐閣、一九七二年四月

利益相反行為『演習民法（親族・相続）』山島正男・泉久雄編、青林書院新社、一九七二年四月

『判例による民法入門（家族法）』中川善之助編、青林書院新社、一九七二年一〇月

『暮らしのための法律』我妻栄ほか編、第一法規、一九七二年一月

一九七三年

配偶者に対する推定相続人廃除請求「別冊ジュリスト『家族法判例百選（新版）』、一九七三年二月  
届出意思の欠缺による婚姻の無効とその追認「ジュリスト臨時増刊『昭和47年度重要判例解説』、一九七三年六月

近親婚と重婚「講座家族第3巻」青山道夫ほか編、弘文堂、一九七三年一二月

『夫婦親子の法律相談』島津一郎・沼辺愛一編、有斐閣、一九七三年

『現代法学事典第三巻』中川善之助編、日本評論社、一九七三年

賃借権の相続「判例演習（親族・相続）・増補版」柚木馨ほか編、有斐閣、一九七三年

家庭裁判所にあらわれる内縁問題「座談会」「ケース研究」137号、一九七三年

一九七四年

夫婦の一方に縁組意思のない夫婦共同縁組の効力「ジュリスト臨時増刊『昭和48年度重要判例解説』、一九七四年七月

『親族・相続事故百科』中川善之助監修、金融財政事情研究会、一九七四年

限定承認「別冊法学セミナー『判例民法Ⅲ』」中川淳ほか編、一九七四年

一九七五年

- 相続人不存在の場合の手続『新家事調停一〇〇講』沼辺・岡垣・野田編、判例タイムズ社、一九七五年二月
- 『民法一〇〇題』民法演習ノート』水本浩・高木多喜男編、有斐閣双書、一九七五年六月
- 重婚の内縁と財産分与『セミナー法学全集・民法V』日本評論社、一九七五年六月
- 主婦の生命侵害と逸失利益「ジュリスト臨時増刊『昭和49年度重要判例解説』」、一九七五年六月
- 近親者の慰謝料請求権「別冊ジュリスト『交通事故判例百選(第2版)』」加藤一郎・宮原守男・野村好弘ほか編  
48号、一九七五年八月

『民法学の基礎知識(3)』五十嵐清・遠藤浩・川井健・島津一郎編、有斐閣、一九七五年一〇月

『建物区分所有権法』玉田弘毅・森泉章・半田正夫編、一粒社、一九七五年一月

一九七六年

- 『新版体系民法事典』、中川善之助・遠藤浩・泉久雄、青林書院新社、一九七六年一月
- 児童福祉法の制定とその意義『家族―政策と法 第2巻』福島正夫編、東京大学出版会、一九七六年一月
- 親権者の監護・教育義務『民法学7(親族・相続の重要問題)』奥田昌道・玉田弘毅・米倉明・川井健・西原道雄・有地亨編、有斐閣、一九七六年三月
- 『民法副読本(債権総論・各論)』森泉章・半田正夫編、文真堂、一九七六年五月
- 虚偽の嫡出子届と養子縁組の成否「ジュリスト臨時創刊『昭和50年度重要判例解説』」一九七六年六月

相続人の廃除『民法Ⅲ〔親族・相続〕』川井健編、日本評論社、一九七六年一月

一九七七年

『民法入門②』川井健編、有斐閣、一九七七年六月

遺留分算定と特別受益としての贈与金の評価「ジュリスト臨時増刊『昭和51年度重要判例解説』」一九七七年六月

『相続法の基礎（実用編）』島津一郎・安倍正三・田中恒朗編、青林書院新社、一九七七年九月

『民法講義7（親族）』久貴忠彦・右近健男・浦本寛雄・中川良延・山崎賢一・阿部徹・泉久雄（分担執筆）、有斐閣、一九七七年一月

一九七八年

『新版親族・相続（基本法コメンタール）』中川善之助・島津一郎編、日本評論社、一九七八年二月

『判例コメンタール(6) 民法Ⅳ（親族）』島津一郎ほか、三省堂、一九七八年四月

『マンションの法律(上)』玉田弘毅編著、一粒社、一九七八年五月

別居をめぐる二、三の問題「ジュリスト」(有斐閣) 665号、一九七八年六月

特定不動産の遺贈と登記「法学セミナー」一九七八年六月号、一九七八年六月



一九七九年

- 遺産分割協議が詐害行為にあたることされた事例「判例時報」916号158頁、一九七九年四月  
夫婦養子と年長者養子の禁止「ジュリスト臨時増刊『昭和53年度重要判例解説』」一九七九年六月  
『私法大要―民商法入門』服部榮三編著、勁草書房、一九七九年七月

一九八〇年

- 重婚の内縁関係にある夫に対する妻の婚姻費用分担請求「別冊ジュリスト『家族法判例百選（第3版）』」、一九八〇年二月  
『現代家庭法律大事典』加藤一郎ほか編、第一法規出版、一九八〇年四月  
相続法改正の問題点「コラム」『『携帯市民六法』一九八〇年版』渡辺洋三責任編集・小川政亮ほか編集、一九八〇年五月  
『司法試験シリーズ民法』別冊法学セミナーNo.44、下森定・半田正夫編、日本評論社、一九八〇年六月  
重婚の内縁の法的问题「別冊判例タイムズ『家族法の理論と実務』」加藤一郎・岡垣学・野田愛子編、一九八〇年一二月

一九八一年

- 『新版民法(8)（親族）』遠藤浩ほか編、有斐閣、一九八一年一月

母の死亡による相続につき遺産の分割その他の処分後に共同相続人である子の存在が明らかになった事例「判例時報」982号、一九八一年一月

『民法入門(2)家族法(第3版)』川井健編、有斐閣、一九八一年三月

『不動産売買の法律相談(第5版)』幾代通・山本進一編、有斐閣、一九八一年二月  
内縁と同棲「不動産法律セミナー」12巻12号9頁、一九八一年二月

一九八二年

『法律マスター講座・民法コース』林修三・森泉章監修、実務教育出版、一九八二年三月

『基本判例双書・民法(親族・相続)』好美清光・久貴忠彦編、同文館、一九八二年五月

『民法II(債権総論・債権各論・親族・相続)』森泉章編、法学書院、一九八二年一月

一九八三年

『家庭内暴力』考「随想」『ジュリスト』783号(一九八三年二月一日号)、一九八三年一月

『判例ハンドブック(親族・相続)』島津一郎編、日本評論社、一九八三年五月

認知の訴えにおける出訴期間の起算点「ジュリスト臨時増刊『昭和57年度重要判例解説』」一九八三年六月

一九八四年

連帯保証と親権者の利益相反『新版・判例演習民法5親族・相続』谷口知平・加藤一郎編（有斐閣）、一九八四年二月

私法学会シンポジウム『養子法の課題』から一、二、三の問題点『新しい家族』第5号、一九八四年夏  
離婚調停の理論〔随想〕『家裁のひろば』千葉家庭裁判所35周年記念特別号』一九八四年一〇月

一九八五年

有責配偶者の離婚請求と調停『判例タイムズ』550号、一九八五年五月

『民法I（総則・物権法）』中川淳編、法学書院、一九八五年八月

養子制度―児童福祉制度への脱皮『法学セミナー増刊総合特集シリーズ31『これからの家族』（日本評論社）、一九八五年一〇月

里親と親権をめぐる―法律的側面から『新しい家族』第7号、一九八五年一〇月

婚約の法的保護『演習民法（親族）』山島正男・泉久雄編、青林書院、一九八五年一月

相続関係における利益相反『演習民法（相続）』山島正男・泉久雄編（青林書院）、一九八五年一二月

一九八六年

『マンシヨンの法律（第3版）』玉田弘毅編著、青林書院、一九八六年二月

『マンションの法律(第3版)』2 玉田弘毅編著、青林書院、一九八六年四月

学校法人の死亡退職金の内縁の妻への帰属「ジュリスト臨時増刊『昭和60年度重要判例解説』」、一九八六年六月  
離婚調停のメカニズム「『法と法過程―社会諸科学からのアプローチ』」広中俊雄教授還暦記念論集」望月礼二郎・樋口陽一・安藤次男編、創文社、一九八六年一〇月

一九八七年

『注解家事審判法』斎藤秀夫・菊地信男編、青林書院、一九八七年二月

『注解家事審判規則』斎藤秀夫・菊地信男編、青林書院、一九八七年二月

中川高男著『第二の自然―特別養子の光芒』(一粒社、昭和六一年一〇月)「読書案内」「新しい家族」第10号、一九八七年二月

養子『民法副読本(親族・相続)』黒木・松嶋編、文真堂、一九八七年三月

男の望む家庭・女が求める家庭「座談会」「渥美雅子『妻からの離縁状』」一九八七年四月

民法九二一条三号にいう相続財産と相続債務「ジュリスト臨時増刊『昭和61年度重要判例解説』」、一九八七年六月

鈴木祿弥『相続法講義』「書評」「法学セミナー」一九八七年八月号、一九八七年七月

演習・民法1「法学教室」一九八七年八月号(No.83)、一九八七年八月

演習・民法1「法学教室」一九八七年九月号(No.84)、一九八七年九月

演習・民法1「法学教室」一九八七年一〇月号 (No.85)、一九八七年一〇月  
 演習・民法1「法学教室」一九八七年一月号 (No.86)、一九八七年一月  
 演習・民法1「法学教室」一九八七年二月号 (No.87)、一九八七年二月

一九八八年

『逐条民法特別法講座』10 川井健・岡垣学ほか、ぎょうせい、一九八八年一月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年一月号 (No.88)、一九八八年一月  
 最近の調停から見た家庭問題「随想」「石垣」一九八八年一月号、一九八八年一月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年二月号 (No.89)、一九八八年二月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年三月号 (No.90)、一九八八年三月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年四月号 (No.91)、一九八八年四月  
 『新家事調停読本』沼辺ほか編、一粒社、一九八八年五月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年五月号 (No.92)、一九八八年五月  
 『民法コンメンタール(20)親族1』ぎょうせい、一九八八年六月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年六月号 (No.93)、一九八八年六月  
 遺産分割調停についての覚書『現代財産権論の課題』小林三衛先生退官記念論文集、敬文堂、一九八八年七月  
 演習・民法1「法学教室」一九八八年七月号 (No.94)、一九八八年七月

演習・民法1「法学教室」一九八八年八月号（No.95）、一九八八年八月  
死亡による損害賠償「『現代判例民法学の課題』森泉章教授還暦記念論集」半田正夫ほか（法学書院）、一九八八  
年九月

演習・民法1「法学教室」一九八八年九月号（No.96）、一九八八年九月

演習・民法1「法学教室」一九八八年一〇月号（No.97）、一九八八年一〇月

演習・民法1「法学教室」一九八八年十一月号（No.98）、一九八八年十一月

遺産分割における遺産評価の時期「別冊ジュリスト『家族法判例百選（第4版）』」、一九八八年十一月

演習・民法1「法学教室」一九八八年十二月号（No.99）、一九八八年十二月

## 一九八九年

『基本法コンメンタール・相続』島津一郎編、日本評論社、一九八九年一月

演習・民法1「法学教室」一九八九年一月号（No.100）、一九八九年一月

演習・民法1「法学教室」一九八九年二月号（No.101）、一九八九年二月

演習・民法1「法学教室」一九八九年三月号（No.102）、一九八九年三月

『基本法コンメンタール・親族』島津一郎編、日本評論社、一九八九年四月

詐欺・強迫による遺言「遺言215号」野田・泉編、判例タイムズ社 判例タイムズ臨時増刊688号、一九  
八九年四月

遺言書の隠匿と相続欠格「遺言分割・遺言215号」野田・泉編（判例タイムズ社）判例タイムズ臨時増刊688号、一九八九年四月

### 一九九〇年

特別養子制度実施一年をかえりみて「講述」「新しい家族」第16号、一九九〇年二月  
真夏の夜の夢〔随想〕「会報」（千葉調停協会）一九九〇年号、一九九〇年

### 一九九一年

子どもの意見表明権「新しい家族」第18号（巻頭言）、一九九一年二月  
嫡出否認の手續と出訴期間「夫婦・親子215号」野田慶子・人見康子編（判例タイムズ社）判例タイムズ臨時増刊747号、一九九一年三月  
認知の訴えと出訴期間「夫婦・親子215号」野田慶子・人見康子編（判例タイムズ社）判例タイムズ臨時増刊747号、一九九一年三月  
『親族・相続法要説』中川高男・三和一博・平井一雄編、青林書院、一九九一年四月  
『判例ハンドブック（親族・相続）』（第2版）島津一郎編、日本評論社、一九九一年四月  
稲子宣子『ソ連における子どもの権利』「書評」「法律時報」65巻5号、一九九一年一月

一九九二年

『新版 注釈民法(26)相続(1)』谷口知平ほか編、有斐閣、一九九二年一月

『新・判例コンメンタール 民法14相続(1)』島津一郎・久貴忠彦編、三省堂、一九九二年一月

『民法小事典』玉田弘毅編、住宅新報社、一九九二年一月

社会的親子の法的関係『講座・現代家族法』川井健ほか編、日本評論社第3巻、一九九二年一月

『注釈家事審判法(改訂)』斎藤秀夫・菊地信男編、青林書院、一九九二年三月

『注釈家事審判規則(改訂)』斎藤秀夫・菊地信男編、青林書院、一九九二年三月

一九九三年

『民法Ⅱ(債権総論・債権各論・親族・相続)』(改訂)森泉章編、法学書院、一九九三年二月

調停と人権『講演』「平成五年九月三〇日 日本調停協会関東支部大会」、一九九三年九月

『不動産売買の法律相談』(第6版)幾代通・山本進一編、有斐閣、一九九三年二月

一九九四年

『民法Ⅰ(総則・物権・担保物権・親族・相続)』別冊法学セミナー・司法試験シリーズ(第3版)下森定・半田

正夫編、日本評論社、一九九四年三月

『新版注釈民法(24)親族(4)親子(2)養子』中川善之助・山嶋正男編、有斐閣、一九九四年一月



『解説実務書式大系(24)〔家事編〕』三省堂、一九九四年一月

一九九五年

遺産分割における遺産評価の時期「別冊ジュリスト『家族法判例百選(第5版)』」久貴・米倉編、(No132)、一九九五年一月

『民法X〔相続〕』(注解法律学全集) 泉久雄・野田愛子ほか、青林書院、一九九五年八月

一九九六年

家事調停と家族法の役割「星野英一先生古稀祝賀論文集『日本民法学の形成と課題(下)』」有斐閣、一九九六年六月

二宮周平著『戸籍と人権』(解放出版社、一九九五)「読書案内」『新しい家族』29号、一九九六年一〇月

一九九九年

審判例からみた特別養子の10年「講述」『新しい家族』第34号、一九九九年五月

近親者の慰謝料請求権「別冊ジュリスト『交通事故判例百選(第4版)』」加藤一郎・宮原守男・野村好弘ほか編 (No152)、一九九九年九月

二〇〇〇年

家事調停制度の回顧と展望「会報」(千葉調停協会) 二〇〇〇年号、二〇〇〇年十二月

二〇〇一年

養子死亡後に養親から申し立てた離縁を許可した事例「民商法雑誌」123巻6号、二〇〇一年三月

二〇〇二年

養子縁組の裁判離縁の原因「家事関係裁判例と実務245題」野田愛子他編、判例タイムズ社 判例タイムズ臨時増刊一〇〇〇号、二〇〇二年一月

特別養子の離縁ができるか「家事関係裁判例と実務245題」野田愛子他編、判例タイムズ社 判例タイムズ臨時増刊一〇〇〇号、二〇〇二年一月